

先輩にきく！リケジョの道

続編

2023年11月21日（火）にオンライン開催した本イベントは、時間内に回答しきれないほどの質問が寄せられました。イベント終了後に、先輩のみなさんから当日回答することができなかった質問への回答およびメッセージをいただきましたので紹介します。



研究職につくため大学院に進学を考えていますが、途中で気持ちが変わるかもしれないとも思っています。どのタイミングで院に進むかどうかを決めましたか。また学部卒と院卒で就職に違いがあると思いますか？

フューチャー株式会社 黒田 夏未

私は大学院への進学を考えたことはありませんでした。突き詰めたい専門性がなかったからだと思います。学部卒だと早く社会経験を積むことができる、院卒だと学びたい分野をもっと深める時間が確保できる、という違いはありますが、私たちの会社では、就職において大きな違いはありません。大学院を卒業したらその研究内容を職業にしなくてはいけない、というわけではなく、世の中には多様なキャリアを築いた方がたくさんいます。例えば私の会社には、学生時代にバイオ研究をしていた時の知識を活かし、今は病院の研究過程の改善支援を行っているコンサルタントがいます。卒業後も、仕事を通して好きな分野に関わる機会を作ることができると思います。

フューチャーアーキテクト株式会社 江口 未紗

進路に対する考えは、実際に大学で専門領域を学んだり、外部環境の変化や新しい情報によって変わっていくものですので、その時に何が最善かを考えて自分で判断していくのが一番良いと思います。大学院を卒業したほうが初任給が高い企業もありますが、私自身は、大学に入学したときから、院への進学は考えず、しっかり大学で学べることを学んだらさっさと就職しちゃおう！と決めました。親がこう言ったから、周りがこうしたから、と他の人のせいにするとう自分で決めた感触がなく、時間が経ってから後悔することがあります。自分自身でよく考えた選択を信じて頑張ってください！

将来就職した会社で希望通りの職種につけるか不安です。すぐに学んだことを活かせなくても、いずれ関わる可能性を視野に入れて希望職種がある会社を選んだほうがいいですか？

■ 全日本空輸株式会社 加藤 恭子

自分の希望どおりになるかはわかりませんが、職種へのこだわりが強いのであれば可能性を数パーセントでも残すことを優先し、希望の職種がある企業を選んでおいたほうがよいと思います。実際には職種だけでなく、選択する企業が大切にしている価値観や、キャリアに関する制度など、他の要素も大切です。希望するイメージと合致が図れるかは、企業によって違ってくると思いますので、企業についても調べてみるといいですね。

理系に進んで後悔したことはありますか？



■ 全日本空輸株式会社 加藤 恭子

特にありません。専門職に就きたい道に縛りがあるなら関係すると思いますが、（例えば医者は医学部、薬剤師は薬学部の卒業が必要、など）最近の傾向ではそのような縛りもなくなっているのが現状だと思います。

■ フューチャーアーキテクト株式会社 江口 未紗

高校時代は「勉強が難しい」「テストの点数がなかなか上がらない」といった時、「理系を選ばなければよかったかも...」と思ったことは何度かありますが、「何度もトライする事で成果が出る、達成できる」といった体験や「自分もやればなんとかなる」といった自信につながりました。

大学入学当初は、女子が1割と少なかったため友達ができないかも...と思いましたが、男女関係なく友人ができましたし、女子が少ないから肩身が狭いという感覚も無く、杞憂に終わりました。

大学での研究活動について、もっと知りたいです。

■ 神戸大学大学院システム情報学研究科 小松 瑞果

中高生向けの解説記事などは作成していませんが、研究に関する一般的な情報は、以下の個人ウェブサイトにて公開しております。

<https://www2.kobe-u.ac.jp/~mkomatsu>

また、以下のウェブサイトにも、研究関連の情報が掲載されています。

https://researchmap.jp/mizuka_komatsu

何か参考になれば幸いです。



個人Webサイト



研究関連の情報

参加して下さったみなさんへのメッセージ

オルビス株式会社 西野 英美

今の時点で「数年後も自分の意思は変わらない！」と言い切れるほどの強い思いと信念があるのであれば、その職種にこだわった方が絶対に良いと思います。

そして、その職種の必須条件が、“大学院卒”であれば、その道を選ばない理由はないですね。ただ、今は正直よく分からない、というのがリアルな気持ちかと思いますし、私もそうでした。

化粧品がすき、化粧品に関わる仕事がしたい！という何となくのセンターピンはおきながらも、就活中、研究職もやっぱりいいよな〜、と思ったりしてエントリーしたものの、院卒じゃないことで面接も受けられなかったことは確かにあります。(大学院行った方がよかったのかなあ、とよぎったのも事実です) でもその境地に立った時に (立ったからこそ)、じゃあこういう道もあるよな〜であったり (⇒研究職ではなくて製造職も面白そう) この会社なら叶えられそうだな (⇒研究と企画が一つの会社の中で連携している) やっぱり自分はこれがやりたいんだな、ここだけは譲れないな (⇒原点の夢に立ち返る) と新たな選択肢を考え始めていた、すなわち、未来の解像度を高めていた自分がいたのも事実です。

考えるからこそ悩むのですが、考えることはやめずに、まずは、自身の好きなことをとにかく追求すること、そして、好き、もしくは得意をキャリアの選定軸におき、それが一番叶えられる道はどこにあるのか、絶対に譲れないことは何か必須条件さえは逃さなければ、人生、絶対に何とかできます!! すでにこうして、未来を真剣に考え、前向きに取り組んでいるみなさんなら絶対に自分らしい選択が出来ると信じています。



FIFはこれからも、未来を担うみなさんが 参加できるイベントを開催します。

今後のイベントは **FIFサイト** をチェック!
<https://www.fif.jp>

フューチャーイノベーションフォーラム (F I F) 事務局

〒141 - 0032 東京都品川区大崎 1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー

URL : <https://www.fif.jp> 窓口 : <https://www.fif.jp/apps/contact/>

Facebook : <https://www.facebook.com/fif.2006>

